

事例1：高次脳と身体麻痺を負った学生患者

Aくんは都内に住む大学2年生。(19歳、大学まで電車で片道1時間、両親と高校1年の妹の4人暮らし)自宅は父親名義の一軒家で、築15年。道路から敷地内までの数段の段差と、玄関の上がりかまちがある。Aくんの部屋は2階。

Aくんの父親が自動車所有していて、人身傷害特約(5000万円、車外OK)と弁護士費用特約あり。

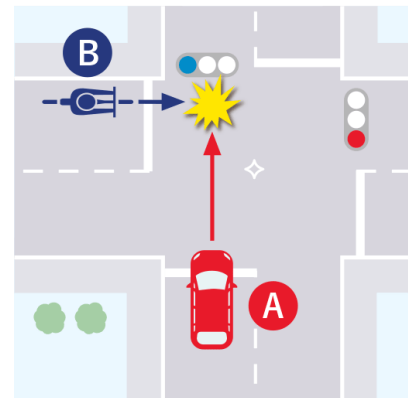
【事故態様】

2023年6月15日、午後7時50分頃の事故。

Aくんはコンビニでアルバイトをしていて、本件は、Aくんが自分の自転車でバイトに出勤する途中の事故だった。

Aくんが自転車で走行中、赤信号で横断歩道を横断してしまい、右方から進行してきた自動車にひかれ受傷。

基本の過失割合は「Aくん80:相手20」



【事故後の経過】

救急病院へ緊急搬送、外傷性クモ膜下出血、脳挫傷の診断。保存的加療にて経過。

事故から3週間ほど意識障害が続いた。

8月1日に、リハビリ病院に転院。

12月10日時点で、Aくんは右片麻痺、歩行は短下肢装具装着し平行棒でリハビリ。

移動は車椅子で、ベッド柵に掴まり見守り下で車椅子への移乗はできるが、右手の麻痺の影響で車椅子を自走すると曲がって行ってしまう。トイレはナースコールで尿便意を伝えられるので見守り下で排便も可能。入浴は右片麻痺のため軽介助。食事は左手でスプーン利用。

高次脳については、スマホを操作して家族と電話はできるが、記憶障害のため電話して1時間後にはまた電話してくる。話の内容は、時間の前後関係相違や間違いの内容も多い。

脳疲労が強く、気分のムラもあり、リハビリ終盤は集中力が低下。

自賠償後遺障害等級は、2級が見込まれる。

検討事項

突然の事故で A さんの両親は混乱しています。警察や相手の損保会社との電話に対応するのも精一杯で、食事ものどを通らず、眠ることもできません…

【救急病院において整理すべきこと】

- ① 救急病院において、治療費をどうするか？
事故の相手運転手が治療費を支払うと言ったので、A さんの両親は、加害者側が治療費を支払うものと思っている…。
- ② 参考に… 労災ではなかった場合、どのように治療費を清算できるのか？
- ③ A さんと家族の生活再構築に向けてまず何が必要か？

【12月10日時点で何を検討、準備すべきか？】

- ④ 事故後から健保第三者行為で損保会社が自己負担分の支払いをスタートし、数か月後から労災に切り替える場合、清算済みの治療費はどうなるのか？
- ⑤ A さんは回復期リハビリテーションの入院期限内に自宅退院できるのか？
期限内に自宅退院を実現するには何を準備すべきか？自宅改修、退院後の介護人やリハビリ先の確保等々…準備のスケジュールは？
- ⑥ 自宅改修、車椅子購入などの費用はどこで支払ってもらえるのか？
- ⑦ 家族が仕事を休んで付き添うような場合、家族に対する補償は支払われるのか？
- ⑧ 症状固定はいつごろ？
どんな医療機関で後遺障害診断書を記載してもらうべき？
- ⑨ 自賠責と労災は同じ日付けで症状固定するのか？
- ⑩ A さんは成年後見人が必要か？
- ⑪ 年々回復して行く被害者について、裁判で争いにならないか？

事例2：遷延性意識障害の40代家族あり患者

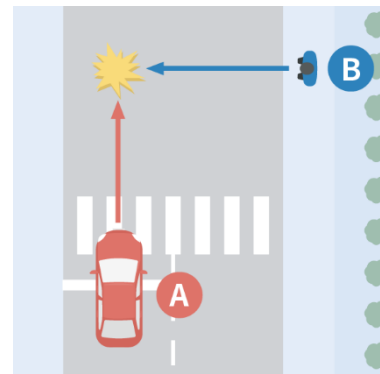
Bさんは神奈川県在住、会社員(40歳、男性、建設会社社員)。
家族は、妻(40歳、パート勤務)と、長男(12歳)との3人暮らし。家はBさん名義の一軒家。住宅ローンあり。同じ市内に、Bさんの両親も、妻の両親も暮らしている。
自宅には、Bさんと妻の保有車あり。(何れも、弁護士特約あり、人身傷害は「3000万円、車外OK」となっている)

【事故態様】

2023年6月1日、昼間の事故。

Bさんは休日買い物に出かけ、徒歩で横断歩道の無い場所を横断した際、直進してきた車にひかれた。相手車両にドライブレコーダーが積載しており、相手車両はノーブレーキだった。加害者は現場に駆け付けた警察官により現行犯逮捕されたが、後日釈放された。

基本の過失割合は「Bさん20:相手80」



【救急病院において、治療費をどうするか】

Bさんの父親が加害者に対して憤慨し、「治療費はすべて加害者が対応しろ！（こちらの健康保険は使わせない）」と言っているが…？

【事故後の経過】

三次救急病院に搬送後、脳挫傷、外傷性クモ膜下出血、頭蓋底骨折、右側頭骨骨折、右多発肋骨骨折、右血気胸、肺挫傷の診断。

開頭血腫除去術、左減圧開頭術、術後低体温療法施行。

7月30日に、リハビリ病院に転院。

12月10日時点で、Bさんの意識障害は継続。呼びかけに開眼するが、追視なし。気管切開により喀痰吸引、胃ろう管理。

検討事項

Bさんは救命されましたが、両親は加害者に憤慨。妻は茫然としている状況で、妻の親がBさん宅に住み込み孫（Bさんの息子）の世話をしています…

【救急病院において整理すべきこと】

- ① 医療費負担をめぐる医療保険使用(第三者行為届)の意義
- ② 家族の生活継続(住宅、児の教育費など)と療養介護における急性期 SW の役割

【12月10日時点で何を検討、準備すべきか？】

- ③ Bさんの妻は事故後に病院付き添いと子育てに追われ、なかなか仕事に復帰できていない。住宅ローンの支払いにも追われているが、団信の手続きはどうか？
- ④ Bさんの職場から「復職できないなら退職を検討してほしい」と言われている。家族の判断で早々に退職手続きして良いのか？
- ⑤ Bさんは自由診療が妥当なのか？健保第三者行為が妥当なのか？
Bさんくらいの重症患者の場合、両者の選択如何によって、将来 B さんの手元に入る賠償額に差が出ると言われるが、どのくらい差額が出るのか？
- ⑥ 事故後から加害者損保が自由診療で治療費支払いをスタートし、数か月後から健保第三者行為に切り替える場合、清算済みの治療費はどうか？
- ⑦ Bさんがなかなか意識回復せず、担当 sw は主治医と相談し療養センターを案内しようと考えている。具体的にどの位の時期に、どのような説明で家族に案内すべきか？
- ⑧ 療養センターには県をまたいで遠方から患者が入所するが、入所後に患者家族はどの様に入所生活を送るのか？(交通費、院内での主治医説明、面会の機会)
- ⑨ 症状固定の時期は？
- ⑩ 後見人の申立て時期は？後見人申立てはどの様に行うのか？気を付けるべき点は？
- ⑪ 在宅介護と施設介護をどう選択すべきか？
- ⑫ 在宅介護に向けた準備は？(自宅改修、退院後の介護人やリハビリ先の確保…)